

「バリアフリー」 嘉祥苑に「優良証」

障害者と支援者
市民団体「嘉祥苑」 喜文は「協力店」に認定

松阪地区のバリアフリー化に取り組み市民団体「ユニバーサルデザイン・「夢現」(深田實代表、24人)が22日、松阪市鎌田町の介護老人保健施設・嘉祥苑(堀江良秋理事、長をバリアフリー化が「協力店」に、それぞれ認定した。



この日午後、深田代表(86)らが両事業所を訪れ、賞状などを手渡した。同団体は

2002(平成14)年に障害者と支援者で立ち上げ、バリアフリー化に熱心に取り組んでいる事業所を毎年表彰している。これまでに松阪市と多気郡内とで28事業所に優良証、18事業所に協力店の認定を行ってきた。本年度は昨年12月に募集し、

今年2月10日に会員が訪れてバリアフリーチェックを行った。松阪のバリアフリー市街地マップを改訂

また、本年度は「松阪(市街地)バリアフリーマップ」(A2判、カラ一両面刷り)を5年ぶり

成。松阪市役所障がい福祉課と市観光情報センター(京町)、県松阪庁舎(高町)、市社会福祉協議会(殿町)で23日から無償配布している。同マップは、松阪市街地の公共施設の場所を地図で示し、裏面にはそれぞれのバリアフリー整備

98(49)2702へ。万協製菓が50万寄付
多気町の子どもたちへ
経営品質賞を受賞
多気郡多気町仁田の万協製菓(松浦信男社長)は20日、「未来をつくる子供たちのために」と同

三重化学の山川社長 「情報発信が大事」 ハンスオン事業報告

松阪市が本年度初めて行った1企業を集中的に支援する取り組み「中小企業ハンスオン支援事業」の公開報告会が22日午前10時から、同市日野町の市産業振興センターカリヨン別館であり、支援を受けた三重化学工業(株)(本社同市大口町)の山川大輔社長(40)が報告を行った。昨年6月に支援企業の選定を行った審査員(6人)と市担



審査員(左側最前列)らと質疑応答する山川社長(右)

この日、竹上真人市長

最後に西村訓弘審査委員長(三重大学副学長)が「ちよつとずつ中途半端に支援するのではなく、一点突破」でここまでやらせたのはすごい。三重化学工業は将来、化ける可能性がある」と統括した。

つむぎや

言わせて

かわいがられた愛犬
感謝しているはず

ても泣いてばかりの毎日でしたが、きつと時間が解決してくれるは

日頃気になることや意見、質問など気軽に
お寄せください。原稿

企業ファイル 郷土に生きる

《294》

(有)辰巳(辰巳佳夫社)のコース料理などもあ
る。季節の刺し身や、

3丁目の通りでもひときり目を引く3階建てビルの割烹辰巳
愛宕町で